



Japan Council for Evaluation of Postgraduate Clinical Training

JCEP

臨床研修評価 調査結果報告書

Pg20100037

医療法人 沖縄徳洲会 湘南厚木病院

湘南厚木病院「断らない医師」育成・研修プログラム

平成 23 年 1 月 24 日

NPO 法人 卒後臨床研修評価機構

ご挨拶

日頃から、NPO 法人 卒後臨床研修評価機構の事業の運営に当たりましては、何かとご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、貴院の臨床研修における調査結果を報告申し上げます。

当評価機構は、臨床研修プログラムを中心とした第三者による臨床研修評価を行い、医療の発展に寄与するとともに、臨床研修病院群の質の向上を図ることを目的としています。本調査から得られた結果が、今後の貴院における臨床研修の質の向上のために資することになりますれば幸甚です。

また、本評価機構は評価体系、および臨床研修評価を実施するうえでの諸問題等について研究し、このような研究活動を通して医療の質の向上と社会貢献を目指します。本調査結果、および評価項目等についてのご意見やご要望をいただくことができれば誠にありがたく存じます。

今後とも、宜しくご支援とご協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

末筆になりましたが、貴院の一層のご発展をお祈り申し上げます。

平成 23 年 1 月 24 日

NPO 法人 卒後臨床研修評価機構

理 事 長 高 久 史 麿

評価委員長 有 賀 徹

臨床研修評価 調査結果報告書について

▶ 報告書の構成

1. 対象病院ならびにプログラム名
2. 臨床研修指定区分
3. 評価のまとめ※1
4. 大項目別評価※2
5. 評価結果一覧※3

※1 評価のまとめ

病院の臨床研修病院としての役割や性格を踏まえたうえで、主に臨床研修プログラムを中心とした所見を述べています。

大項目間の評価結果の相対的なバランスについて指摘すべきことがある場合は、その点についても記述してあります。

※2 大項目別評価

大項目別に、中項目の評価結果を「適切と評価された項目」と「検討を要する内容が見られた項目」、および「改善を要すると評価された項目」として示したものです。

※3 評価結果一覧

- 各評価項目の評価結果を示したものです。
- 中項目評価は3段階で行われ「適切」、「要検討」、「要改善」で表記しました。
- 小項目評価は3段階で行われ「a」、「b」、「c」で表記しました。
- 評価結果の「NA」は、機能に照らして当該評価項目で求めている機能を有さないことが妥当であると判断される場合に付されるものです。Not Applicable(非該当)の略です。
- 小項目において「b」、「c」と判定された項目については、所見が記載されます。

評価項目の構造

- | | |
|---------------|----------------------------|
| 大項目「Pg.○」 | : 臨床研修評価の対象領域における枠組みを表す項目 |
| 中項目「Pg.○.○」 | : 直接評価の対象となる項目 |
| 小項目「Pg.○.○.○」 | : 各中項目を客観的かつ的確に判定するための指標項目 |

臨床研修評価 調査結果報告書

1. 対象病院ならびにプログラム名： 湘南厚木病院
湘南厚木病院「断らない医師」育成・研修プログラム
2. 臨床研修指定区分： 基幹型臨床研修病院

上記について、臨床研修評価について standard:October 2009 を用いて行いましたので、その結果の概要を報告いたします。

3. 評価のまとめ

研修医は少ないものの、コメディカルスタッフを含め病院を挙げて研修医を育てています。そして、経験できる症例の質、数、さらに経験できる手技などについての研修も十分であると理解することができました。

いくつかある改善点については、評価結果一覧に詳述しますが、研修医の労働時間については改善する必要があります。

4. 大項目別評価

Pg.1 臨床研修病院としての役割と理念・基本方針

【適切と評価された項目】

Pg.1.1 臨床研修の理念・基本方針が確立されている

Pg.1.2 臨床研修病院としての役割が明確になっている

【検討を要する内容がみられた項目】

特になし

【改善を要すると評価された項目】

特になし

Pg.2 臨床研修病院としての研修体制の確立

【適切と評価された項目】

Pg.2.2 臨床研修が組織的・計画的になされる体制がある

【検討を要する内容がみられた項目】

Pg.2.1 研修管理委員会が確立している

【改善を要すると評価された項目】

特になし

Pg.3 臨床研修病院としての施設・設備の整備

【適切と評価された項目】

- Pg.3.1 臨床研修病院としての環境整備が適切である
Pg.3.2 患者の診療に関する情報を適切に管理している
Pg.3.3 医療に関する安全管理体制の確保がなされている

【検討を要する内容がみられた項目】

- Pg.3.4 研修をサポートするための設備が整備されている

【改善を要すると評価された項目】

特になし

Pg.4 研修医の採用・修了と組織的位置付け

【適切と評価された項目】

- Pg.4.1 研修医の募集・採用の方法が適切である
Pg.4.5 臨床研修の修了の手続きが適切である
Pg.4.6 個々の研修医に関する研修記録等が整理・保管されている

【検討を要する内容がみられた項目】

- Pg.4.2 研修医の募集および採用が計画的になされている
Pg.4.3 研修医の研修規程が明確である

【改善を要すると評価された項目】

- Pg.4.4 研修医に対する適切な処遇が確保されている

Pg.5 研修プログラムの確立

【適切と評価された項目】

- Pg.5.2 研修プログラムが研修プロセス(計画、目標、方略、評価)に沿って実施され、評価されている
Pg.5.3 「医療人として必要な基本姿勢・態度」が身につけられる内容がプログラムの中に適切に組み込まれている
Pg.5.4 「経験すべき診察法・検査・手技」が身につけられる内容がプログラムの中に適切に組み込まれている
Pg.5.5 経験すべき症状・病態・疾患について鑑別診断、初期治療を行う能力が身につけられる内容が適切に組み込まれている

【検討を要する内容がみられた項目】

- Pg.5.1 研修プログラムが適切に策定されている

【改善を要すると評価された項目】

特になし

Pg.6 研修医の評価

【適切と評価された項目】

Pg.6.1 研修医を評価するシステムが確立され、実施されている

Pg.6.2 研修医ごとに評価結果に応じて研修医への対応が適切になされている

【検討を要する内容がみられた項目】

特になし

【改善を要すると評価された項目】

特になし

Pg.7 研修医の指導体制の確立

【適切と評価された項目】

Pg.7.1 指導体制・診療上の責任者が明示されている

Pg.7.2 研修医が行う診療行為に対してチェックする体制がある

Pg.7.3 臨床研修指導医の評価が適切に行われている

【検討を要する内容がみられた項目】

特になし

【改善を要すると評価された項目】

特になし

Pg.8 修了後の進路

【適切と評価された項目】

Pg.8.1 自施設や他施設でその後の研修が継続できるように配慮している

【検討を要する内容がみられた項目】

Pg.8.2 正規の職員として採用されるシステムが整備されている

Pg.8.3 修了した医師の生涯にわたるフォロー体制がある

【改善を要すると評価された項目】

特になし

5. 評価結果一覧

Pg.1	臨床研修病院としての役割と理念・基本方針	
Pg.1.1	臨床研修の理念・基本方針が確立されている	適切
Pg.1.1.1	理念・基本方針が明文化されている	a
Pg.1.1.2	院内および臨床研修病院群間で周知・徹底されている	a
Pg.1.1.3	必要に応じて見直されている	a
Pg.1.2	臨床研修病院としての役割が明確になっている	適切
Pg.1.2.1	自院の臨床研修における役割・機能の範囲が適切である	a
Pg.1.2.2	自院の臨床研修における役割・機能の範囲が地域に周知・徹底されている	a
Pg.1.2.3	自院の臨床研修における役割・機能について、地域から評価を受けている	a

Pg.2	臨床研修病院としての研修体制の確立		
Pg.2.1	研修管理委員会が確立している	要検討	全病院的に、研修委員会を通じてより良い研修環境の確立に努力されたい
Pg.2.1.1	研修管理委員会があり、総括責任者・委員の構成が明文化されている	a	
Pg.2.1.2	研修管理委員会の規程がある	a	
Pg.2.1.3	研修管理委員会は定期的開催され、機能している	b	研修管理委員会の回数は少ないが、院内の研修委員会がそれを補って肩代わりしている。ただし、院内の研修委員会の出席者が必ずしも十分ではない
Pg.2.2	臨床研修が組織的・計画的になされる体制がある	適切	
Pg.2.2.1	計画的に実施するための事務担当者が確保され、機能している	a	
Pg.2.2.2	研修プログラムごとにプログラム責任者が確保され、機能している	a	
Pg.2.2.3	必要な臨床研修指導医が確保されている	a	

Pg.3	臨床研修病院としての施設・設備の整備	
Pg.3.1	臨床研修病院としての環境整備が適切である	適切
Pg.3.1.1	外来研修が適切に行えるよう外来部門の体制が確立し、適切に運営されている	a
Pg.3.1.2	救急医療分野の研修ができる環境となっている	a
Pg.3.1.3	レポートを求められている症例が確保されている	a
Pg.3.1.4	臨床病理検討会(CPC)が適切に開催されている	a
Pg.3.2	患者の診療に関する情報を適切に管理している	適切
Pg.3.2.1	専任の診療情報管理者が配置されている	a
Pg.3.2.2	診療に関する諸記録の管理が適切になされている	a
Pg.3.3	医療に関する安全管理体制の確保がなされている	適切
Pg.3.3.1	安全管理者を配置している	a
Pg.3.3.2	安全管理部門がある	a
Pg.3.3.3	臨床研修における安全確保のための活動が行われている	a
Pg.3.3.4	研修医の医療事故発生時の対応体制が確立している	a
Pg.3.3.5	組織的に施設関連感染が行われている	a
Pg.3.3.6	患者相談窓口がある	a

Pg.3.4	研修をサポートするための設備が整備されている	要検討	図書機能について、及びインターネット環境についての整備は行われているが、研修医当直室として専用の部屋を確保されたい。シミュレーターについては講習時にレンタルをしたり、自作したりする等の努力がなされているが、やはり病院として常備し、研修医の積極的な活用を可能にすることが望まれる
Pg.3.4.1	図書・雑誌・インターネット利用環境が整備されている	a	
Pg.3.4.2	研修医のための病院内での個室性が重んじられている	b	研修医の当直室として、未使用の外来診療コーナーの一室があてられているが、ここでは閉鎖的な環境である点、およびプライバシーの確保に欠ける点で不十分である
Pg.3.4.3	医学教育用シミュレーター、医学教育用ビデオ等の機材が活用されている	b	基礎的研修に供されるシミュレーターが常備されていない

Pg.4	研修医の採用・修了と組織的な位置付け		
Pg.4.1	研修医の募集・採用の方法が適切である	適切	
Pg.4.1.1	研修医の公募規程がある	a	
Pg.4.1.2	研修プログラム等が公表されている	a	
Pg.4.1.3	研修医の採用試験が適正に行われている	a	
Pg.4.1.4	採用辞令が適切に発行されている	a	
Pg.4.2	研修医の募集および採用が計画的になされている	要検討	なぜ、研修医に選ばれなかったのかなどの分析と検討が求められる
Pg.4.2.1	募集および採用について計画的になされている	b	今年のマッチングによる研修医採用はなく、現時点では来年度の研修医確保に至っていない。今後の努力により経年的に研修医を確保することが望まれる
Pg.4.2.2	募集および採用についての結果が評価され見直されている	a	
Pg.4.3	研修医の研修規程が明確である	要検討	研修医の診療における役割や病棟等での実務規程は、医局員むけパンフレット及び研修プログラムに記載されており、研修規程は概ね明確である。更に、研修医規程を病院の研修管理規程とは区別して整備することが望まれる
Pg.4.3.1	研修医の研修規程がある	b	初期臨床研修医規程が定められているが、病院の研修管理に関する規程と、研修医の職務等についての研修医にかかわる規程とが混在している
Pg.4.3.2	研修医が患者を担当する場合の役割が明示されている	a	
Pg.4.3.3	病棟、手術室、救急室、外来、当直等における研修実務に関する規程があり支援及び指導体制が明文化されている	a	

Pg.4.4	研修医に対する適切な処遇が確保されている	要改善	研修医の位置付けは明確にされ、健康診断も適切に実施されている。更に、総労働時間の短縮、当直明け休みの保障、専用当直室の確保等の改善が必要である
Pg.4.4.1	研修医の位置付け・処遇に関する規程が明確になっている	a	
Pg.4.4.2	定期的に健康管理が行われている	a	
Pg.4.4.3	当直研修の際の処遇に配慮がなされている	c	他の職員と比べ、研修医一人当たり年間総労働時間が長い。当直明けの勤務への配慮がない
Pg.4.5	臨床研修の修了の手続きが適切である	適切	
Pg.4.5.1	研修管理委員会に研修医ごとの評価・報告が適切に行われている	a	
Pg.4.5.2	必要事項の記載された臨床研修修了証が適切に発行されている	a	
Pg.4.5.3	修了が認められない場合の手順が確立している	a	
Pg.4.6	個々の研修医に関する研修記録等が整理・保管されている	適切	
Pg.4.6.1	研修を受けたすべての研修医(中断者を含む)についての記録が整理・保管されている	a	
Pg.4.6.2	記録の内容が適切である	a	

Pg.5	研修プログラムの確立	
Pg.5.1	研修プログラムが適切に策定されている	要検討 各診療科ごとの方略がスケジュールのみとなっており、検討が求められる
Pg.5.1.1	理念・基本方針に沿った研修プログラムである	a
Pg.5.1.2	研修プログラムには必要事項が明示されている	b 研修プログラムの方略についての具体的な記載がない
Pg.5.1.3	研修プログラムが研修医一人ひとりに周知されている	a
Pg.5.1.4	研修医が積極的に研修プログラムを選択し研修に取り組む体制が確保されている	a
Pg.5.2	研修プログラムが研修プロセス(計画、目標、方略、評価)に沿って実施され、評価されている	適切
Pg.5.2.1	プログラムごとに内容に適した研修期間(スケジュール)が設定され、目標を達成できるような実施されている	a
Pg.5.2.2	研修プログラムの評価が行われている	a
Pg.5.3	「医療人として必要な基本姿勢・態度」が身につけられる内容がプログラムの中に適切に組み込まれている	適切
Pg.5.3.1	基本的姿勢・態度について身につけられる内容が組み込まれている	a
Pg.5.3.2	インフォームド・コンセントについて身につけられる内容が組み込まれている	a
Pg.5.3.3	問題対応能力を修得する研修(EBM の実践・生涯自己学習習慣・患者への対応)が組み込まれている	a
Pg.5.3.4	安全管理についての研修(安全な医療の遂行・危機管理参画・安全確認・施設関連感染対策)が組み込まれている	a

Pg.5.3.5	症例呈示と意見交換を行う研修(カンファレンス・学術集会)が組み込まれている	a
Pg.5.3.6	地域保健・医療(地域包括ケア、プライマリ・ケア)が組み込まれている	a
Pg.5.3.7	医療の社会性について身につけられる内容がプログラムの中に適切に組み込まれている	a
Pg.5.4	「経験すべき診察法・検査・手技」が身につけられる内容がプログラムの中に適切に組み込まれている	適切
Pg.5.4.1	医療面接(对患者:コミュニケーションスキル、聴取・記録、指示・指導)が組み込まれている	a
Pg.5.4.2	基本的診療能力が身につけられる内容が適切に組み込まれている	a
Pg.5.4.3	基本的な身体診察法(病態把握、全身観察、頭頸部、バイタルサインと精神状態、皮膚)が組み込まれている	a
Pg.5.4.4	基本的臨床検査(検査適応判断、実施、結果解釈)が組み込まれている	a
Pg.5.4.5	基本的手技(手技の適応決定・実施)が組み込まれている	a
Pg.5.4.6	基本的治療法(治療法の適応決定・実施)が組み込まれている	a
Pg.5.4.7	医療記録(診療録・処方箋・指示箋、診断書、死亡診断書、証明書、CPC レポート、紹介状と返信)を適切に記載する仕組みがある	a
Pg.5.4.8	診療計画(診療計画作成、ガイドライン・CP 活用、入退院判断、QOL を含めた総合的管理計画への参画)を適切に作成し、評価する教育が組み込まれている	a

Pg.5.5	経験すべき症状・病態・疾患について鑑別診断、初期治療を行う能力が身につけられる内容が適切に組み込まれている	適切
Pg.5.5.1	頻度の高い症状について組み込まれている	a
Pg.5.5.2	緊急を要する症状・病態について組み込まれている	a
Pg.5.5.3	経験が求められる疾患・病態について(患者を受け持ち診断・検査・治療方針、術後管理等の症例レポート)組み込まれている	a
Pg.5.5.4	特定の医療現場の経験(救急医療、予防医療、地域医療、周産・小児・成育医療、精神保健・医療、緩和ケア・終末期医療)が組み込まれている	a

Pg.6	研修医の評価	
Pg.6.1	研修医を評価するシステムが確立され、実施されている	適切
Pg.6.1.1	評価者が明確で、評価者の構成が適切である	a
Pg.6.1.2	評価項目・基準が明確で、全体的な項目の構成が適切である	a
Pg.6.1.3	評価者・評価項目が研修医に周知されている	a
Pg.6.1.4	研修医の評価が適切に行われている	a
Pg.6.2	研修医ごとに評価結果に応じて研修医への対応が適切になされている	適切
Pg.6.2.1	評価結果が報告され、適切な指導がなされている	a
Pg.6.2.2	研修実績が基準に満たない場合の対応が決められている	a

Pg.7	研修医の指導体制の確立	
Pg.7.1	指導体制・診療上の責任者が明示されている	適切
Pg.7.1.1	研修分野ごとに指導体制と指導医、その他の指導者が明確になっている	a
Pg.7.1.2	臨床研修指導医の資格規程があり、役割が明示されている	a
Pg.7.1.3	適任の臨床研修指導医が指導を行う体制が確保されている	a
Pg.7.1.4	指導者が指導を行う体制が確保されている	a
Pg.7.2	研修医が行う診療行為に対してチェックする体制がある	適切
Pg.7.2.1	研修医の診療行為について指導医の指導を受ける体制が具体的に決められている	a
Pg.7.2.2	研修医の記載した診療録を適切にチェックし指導する仕組みがある	a
Pg.7.2.3	研修の記録について指導し、評価がなされる体制がある	a
Pg.7.3	臨床研修指導医の評価が適切に行われている	適切
Pg.7.3.1	評価方法が明確である	a
Pg.7.3.2	評価結果に対する検討が行われ、活用されている	a

Pg.8	修了後の進路		
Pg.8.1	自施設や他施設でその後の研修が継続できるように配慮している	適切	
Pg.8.1.1	後期臨床研修の情報提供や適切な評価による紹介がなされている	a	
Pg.8.2	正規の職員として採用されるシステムが整備されている	要検討	修了者が出ることを見越して体制の構築が求められる
Pg.8.2.1	システムが明文化されている	a	
Pg.8.2.2	採用した実績がある	b	修了者がいない状態であり実績がない
Pg.8.3	修了した医師の生涯にわたるフォロー体制がある	要検討	修了後もどのようにかかわっていくのか研修医に明らかにする必要がある
Pg.8.3.1	システムが明文化されている	b	まだ卒業生がいない段階ではあるが、同窓会やその他生涯を通じて支援する体制の構築が求められる